

野田市教育委員会定例会会議録

- ◇日時 平成29年10月25日（水）午後1時30分開会 午後2時25分閉会
- ◇場所 東葛飾教育事務所東葛飾研修所第1研修室
- ◇出席委員 東條三枝子教育長 高橋保教育委員 伊藤稔教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員
- ◇説明職員 杉山一男生涯学習部長 伊藤公夫生涯学習部次長（兼）社会教育課長 中村利夫教育総務課長 岡田通洋社会体育課長 横島司青少年課長（兼）青少年センター所長 寺田幸生興風図書館長 桑原辰夫学校教育部長 長妻美孝学校教育部次長（兼）学校教育課長 矢部雅彦学校教育部参事（兼）指導課長 川野尚武社会教育課長補佐

- ◇書記 小関秀章教育総務課長補佐（兼）庶務係長

◇付議事件

- (1) 野田市教育委員会表彰被表彰者の決定について
- (2) 野田市文化センター運営審議会委員の委嘱について
- (3) 野田市小中学校結核対策委員会委員の委嘱について
- (4) 控訴の提起について

◇教育長の報告事項

- ・教育総務課
 - (1) 平成29年第4回野田市議会定例会の報告について
- ・社会教育課
 - (1) 平成29年度第1回野田市文化センター運営審議会会議の概要報告について
- ・社会体育課
 - (1) 野田市健康づくりフェスティバルの実施について
 - (2) 第31回野田市民駅伝競走大会の開催について
 - (3) 生涯スポーツ優良団体の表彰について
- ・青少年課
 - (1) オープンサタデークラブの実施状況（前期）について
 - (2) 第39回野田市こどもまつりの開催報告について
- ・学校教育課
 - (1) 「見つけるのだ！食べるのだ！～のだの恵みを味わう給食の日～」について
- ・指導課
 - (1) いじめの状況について
 - (2) 第71回東葛飾地方中学校駅伝競走大会の結果について
 - (3) 音楽コンクール結果について
 - (4) JOCオリンピック教室について
 - (5) 平成29年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展の受賞者について

◎東條教育長

ただいまから、平成29年10月教育委員会定例会を開会いたします。
本日は、傍聴人はいらっしゃいません。

◎東條教育長

それでは、会議を始めます。
本日の会議録署名委員を伊藤委員にお願いいたします。
会議録承認の件に入ります。
平成29年9月定例会の会議録について、確認をお願いいたします。
御異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

御異議なしと認め、9月定例会会議録につきましては、承認といたします。
議案審議に入る前にお諮りをいたします。
本日、議案第4号 控訴の提起についてが追加議案として提出されました。
議案第4号を本日の議案として追加し、会議を進めたいと考えます。
なお、この議案は個人に関する情報であり、特定の個人を識別することが可能なものでございます。また、訴訟に関する案件でありますので、非公開により会議を進めたいと考えますが、よろしいでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

御異議ございませんので、議案第4号を追加議案として審議することとし、非公開で会議をいたします。
なお、会議の進行上、議案第4号は教育長の報告事項終了後に審議することといたします。
それでは、議案の審議に入ります。
議案第1号を議題といたします。
書記、お願いします。
(書記議案朗読)

◎東條教育長

事務局から説明をお願いします。
教育総務課長。

◎中村教育総務課長

議案第1号 野田市教育委員会表彰被表彰者の決定について御説明申し上げます。
本案は、野田市教育委員会表彰規程に基づき、平成29年度教育委員会表彰被表彰者の決定をお願いするものでございます。
野田市教育委員会表彰規程の写しを資料の7ページから8ページに添付させていただきました。
受賞候補者選考委員会の会議において、被表彰候補者として個人11名と団体3組を選定いたしました。
2ページを御覧ください。
教育委員会表彰被表彰者推薦一覧のナンバー1から順に御説明いたします。

ナンバー1からナンバー4までは、平成29年度第34回全国少年少女レスリング選手権大会での功績によるものですので、まとめて説明させていただきます。

ナンバー1、中央小学校4年生の戸邊昇輝さんですが、小学生の部4年生33キログラム級で優勝いたしました。

次に、ナンバー2、清水台小学校4年生の古市大翔さんですが、小学生の部4年生29キログラム級で準優勝しました。

次に、ナンバー3、清水台小学校6年生の古市一翔さんですが、小学生の部6年生50キログラム級で優勝、平成29年3月に開催されました第21回全国少年少女選抜レスリング選手権大会小学生の部5年生45キログラム級でも優勝しております。

次に、ナンバー4、清水台小学校6年生の小島来輝さんですが、小学生の部6年生28キログラム級で3位となりました。

次に、ナンバー5、南部小学校5年生の坂本渚咲さんですが、日清食品カップ第33回全国小学生陸上競技交流大会小学5年生女子100メートルで2位となりました。

次に、ナンバー6、南部小学校6年生の山口慶朗さんですが、ダノンネーションズカップ2017 in JAPANに柏レイソルU-12のゴールキーパーとして出場し、優勝に貢献いたしました。

次に、ナンバー7、南部小学校6年生の本田咲葵さん、ナンバー8、南部小学校6年生の三村凜さんですが、オールジャパン・チアリーディング&ダンス・チャンピオンシップUSAオールスター・ナショナルズ2017にピーチ・マックスの一員として出場し、エレメンタリー編成ポン部門ミディアムBで優勝。さらに、本田咲葵さんは、ディリオンの一員としても出場し、ジュニア編成ポン部門ミディアムAで2位となりました。

ナンバー1からナンバー8までの8名につきましては、表彰規程第3条第4号の「その他委員会が表彰するのが適当であると認める業績又は行為のあったもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

次に、ナンバー9、南部中学校吹奏楽部ですが、第29回全日本マーチングコンテスト中学校の部で金賞を受賞しました。表彰規程第3条第1号の「在学中の成績が特に優秀なもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

次に、ナンバー10、西武台千葉中学校3年生の栗原琉夏さんですが、第47回全国中学校バドミントン大会女子シングルスで3位となりました。

次に、ナンバー11、西武台千葉高等学校2年生の鈴木晃祐さんですが、第23回日本ジュニアゴルフ選手権男子15歳から17歳までの部で優勝しました。

次に、ナンバー12、戸邊直人さんですが、第72回国民体育大会成年男子走り高跳びで準優勝しました。

次に、ナンバー13、野田市立みずき小学校PTAですが、PTA活動が子供たちの笑顔を生み出す活動となるよう効果的な組織運営を行うことに尽力され、平成29年度優良PTA団体として文部科学大臣表彰を受賞されました。

次に、ナンバー14、野田市バドミントン協会ですが、多種の市民大会を開催することで幅広い層の市民が参加できる場を提供し、スポーツの発展や振興に尽力され、平成29年度生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣表彰を受賞されました。

ナンバー10からナンバー14までの3名2団体につきましては、表彰規程第2条第8号の「その他委員会が表彰するのが適当であると認める業績又は行為のあったもの」に該当し、表彰しようとするものでございます。

以上、個人11名と団体3組の表彰について、よろしく御審議の上、御決定賜りますよう

お願いいたします。

なお、御決定いただいた後には、11月4日土曜日午前9時から市役所2階中会議室において表彰式を行う予定ですので、委員の皆様には御出席くださいますようお願い申し上げます。

以上でございます。

◎東條教育長

ただいまの説明について、御質問等ございましたらお願いいたします。
いかがでしょうか。

◎全委員

(なし)

◎東條教育長

なければ、議案第1号についてお諮りをしたいと思います。
それでは、議案第1号について、原案のとおり可決することに御異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

御異議なしと認めます。
よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。
次に、議案第2号を議題といたします。
書記、お願いします。
(書記議案朗読)

◎東條教育長

事務局から説明をお願いします。
社会教育課長。

◎伊藤社会教育課長

議案第2号 野田市文化センター運営審議会委員の委嘱について御説明申し上げます。
本案は、関係団体を代表する者として連合千葉 野田・流山地区連絡会より推薦のあった委員について変更があったため、その残任期間について新たに委嘱しようとするものでございます。

新たに委嘱しようとする委員は、田口哲規氏でございます。委嘱期間は、野田市文化会館の設置及び管理に関する条例第19条第1項の規定により、前任者の残任期間である平成29年11月1日から平成30年8月31日まででございます。

なお、今回の委嘱により委員15人中、男性委員が8人、女性委員が7人で、女性委員の登用率は47%でございます。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。
以上です。

◎東條教育長

ただいまの説明について、御質問等ございましたらお願いいたします。

◎全委員

(なし)

◎東條教育長

なければ、議案第2号についてお諮りをいたします。

議案第2号について、原案のとおり可決することに御異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

御異議なしと認めます。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第3号を議題といたします。

書記、お願いします。

(書記議案朗読)

◎東條教育長

事務局から説明をお願いいたします。

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

議案第3号 野田市小中学校結核対策委員会委員の委嘱について御説明いたします。

資料は12ページになります。

小中学校結核対策委員会は、資料15、16ページにあります野田市小中学校結核対策委員会設置要綱において、結核検診の適正かつ円滑な実施を目的に設置され、委員会の委員15人以内で組織することとなっております。

現在の任期が平成28年11月1日から平成29年10月31日となっておりますので、新たに平成29年11月1日から平成30年10月31日までの1年間、委員として委嘱しようとするものでございます。

なお、本審議会の女性登用率につきましては、目標50%に対しまして、委員15名中、男性9名、女性6名でございますので、40%となっております。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

◎東條教育長

ただいまの説明について、御質問等ございましたらお願いいたします。

◎全委員

(なし)

◎東條教育長

なければ、議案第3号についてお諮りをいたします。

議案第3号について、原案のとおり可決することに御異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

御異議なしと認めます。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

次に、教育長の報告事項に入ります。

報告事項に対する質問につきましては、報告事項の説明終了後に一括してお受けしたいと思います。

それでは、最初に教育総務課からお願いします。

◎中村教育総務課長

教育総務課から、平成29年第4回野田市議会定例会について御報告いたします。

お手元の資料で、教育長の報告事項1ページからになります。

平成29年第4回野田市議会定例会は、平成29年9月1日から9月26日までの会期で開催されました。

市政一般報告につきましては、教育委員会関係及び関連する事項を抜粋いたしました。

一般質問については、9月11日、9月12日、9月13日の3日間で、14名の議員から質問があり、そのうち関連のある8議員の答弁について、その概要を配付させていただいております。

教育委員会関係の議案等といたしましては、報告第1号 平成28年度野田市一般会計継続費精算報告書について、報告第6号、報告第7号の専決処分の報告について、議案第5号 平成29年度野田市一般会計補正予算（第3号）、認第1号 平成28年度野田市一般会計歳入歳出決算認定についてが提出され、全て可決又は認定されておりますことを御報告申し上げます。

以上でございます。

◎東條教育長

次に、社会教育課からお願いします。

社会教育課長。

◎伊藤社会教育課長

平成29年度第1回野田市文化センター運営審議会会議の概要について御報告いたします。会議は、10月20日に勤労青少年ホーム講習室において、委員15人中11人の出席により開催いたしました。

会議の内容といたしましては、平成29年度9月末現在の文化会館、櫛のホール小ホール及び勤労青少年ホームの利用状況、文化会館委託文化事業の実施状況、平成29年度勤労青少年ホーム事業実施状況について事務局から報告し、御了承いただき、次に、平成30年度文化会館委託文化事業計画案について事務局から説明し、御了承いただきました。

以上でございます。

◎東條教育長

次に、社会体育課からお願いします。

社会体育課長。

◎岡田社会体育課長

社会体育課から、3点御報告させていただきます。

1点目は、健康づくりフェスティバルの実施について御報告いたします。

資料は23ページでございます。

10月15日日曜日午前10時から、野田市保健センターにて健康づくりフェスティバルを開催いたしました。このフェスティバルは、保健センターと社会体育課が中心となり、野田市医師会等の御協力を得て、毎年実施しているものでございます。

今年のメインテーマは、「はじめよう 続けよう！あなたと家族の健康づくり」で、また、団体テーマといたしまして社会体育課担当のテーマ「みんなで楽しく健康・体力づくり」を掲げ、各種体力測定や健康相談、えだまめ体操指導等を実施いたしました。

当日は、あいにく雨天で気温が低かったことから、参加者は70名でございました。

2点目は、第31回野田市民駅伝競走大会の開催について御報告いたします。

資料は24ページから27ページでございます。

11月19日日曜日、野田市教育委員会、野田市体育協会主催の第31回野田市民駅伝競走大会を、野田市総合公園にて開催いたします。

コースは、野田市総合公園陸上競技場を出発、中継、決勝点とする周回コースで、種目は小学校男子の部7.4キロメートル、小学校女子の部7.4キロメートル、中学校男子の部15キロメートル、中学校女子の部9キロメートル、高校男子の部15キロメートル、一般男子の部9キロメートル、一般・高校女子の部9キロメートルの7部門でございます。

なお、昨年の参加者は、164チーム820人でございます。

3点目は、生涯スポーツ優良団体の表彰について御報告をいたします。

資料は28ページから30ページでございます。

10月6日に霞が関の中央合同庁舎におきまして、野田市バドミントン協会が、文部科学大臣から生涯スポーツ優良団体として表彰されましたので、御報告をいたします。

野田市バドミントン協会は、昭和56年5月に設立され、長年にわたり春と秋の団体戦、男女年齢別大会、小中学生大会などの市民大会等を開催することで、幅広い層の市民が参加できる場を提供し、スポーツの発展、振興に寄与しており、また、平成17年に開催されました千葉きらめき総体、平成22年に開催されましたゆめ半島千葉国体の際は、バドミントン競技会場の地元競技団体として競技役員を務めるなど、大会の成功のために大きな役割を果たしており、このような功績が認められ今回の表彰となったものでございます。

報告は以上でございます。

◎東條教育長

続いて、青少年課からお願いします。

青少年課長。

◎横島青少年課長

青少年課から2点報告させていただきます。

1点目でございますが、オープンサタデークラブの実施状況の前期分について御報告をさせていただきます。

31ページを御覧ください。

オープンサタデークラブ年間全17回開催のうち、前期9回が平成29年10月7日土曜日に終了しましたので、前期の実施状況について及び後期第1回目から、これは10月21日から始まっておりますが、小学1年生が参加いたしましたので、募集結果につきましても併せて御報告させていただきます。

初めに、前期9回の実施状況でございますが、4月15日土曜日に27会場36講座でスタートし、事故、怪我等もなく無事終了いたしました。

前期参加申込者数につきましては1,112人で、昨年同時期と比較しまして182人の減となり、申込率は9.1%、昨年より1%減となりました。

次に、小学1年生の募集結果についてでございますが、後期第1回目の講座から参加いたしました小学1年生につきまして、22講座で募集したところ、141人の参加申込みがあり、昨年より37人減となりましたが、小中合計で1,253人、申込率10.2%で、昨年度の1,472人、11.9%と比較しまして219人、1.7%の減となりました。

なお、申し込まれました小学1年141人につきましては、希望の講座において受講することが決定しております。

2点目でございますが、第39回野田市こどもまつりの結果について御報告いたします。

資料はございません。

去る10月22日日曜日に、野田市柳沢小学校の校庭において第39回野田市こどもまつりの開催を予定しておりましたが、台風21号等の影響により大雨や大荒れとなるおそれがあったことから、参加児童等の行き帰りの安全確保を考慮し中止とさせていただきます。

青少年課からは以上です。

◎東條教育長

続いて学校教育課、お願いいたします。

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

それでは、学校教育課の「見つけるのだ！食べるのだ！～のだの恵みを味わう給食の日～」について御説明いたします。

資料は32ページになります。

11月は、千葉県の「ちばを食べよう！ちばの食育月間」になっております。野田市においては各校が連携し、同じ日に学校給食で野田の旬の食材や特産物を活用した献立を実施し、子供たちに地元の旬の食材を味わってもらうことを企画いたしました。

今回は資料にありますとおり、11月24日に各校において、野田産の食材をいかした給食を提供いたします。食材は、主に黒酢米、発芽玄米、ほうれん草、長ねぎ、白菜、キャベツ、さくらポーク、鶏卵、もろみ等を利用し、各校で工夫した給食が提供されます。

当日の各校の献立につきましては、34ページに掲載してございます。また、例年、JAちば東葛組合から米粉を頂いており、これを利用した給食にも取り組んでおります。給食の日の当日、川間小学校では会食会も予定されております。

今回のテーマを「見つけるのだ！食べるのだ！～のだの恵みを味わう給食の日～」とし、地元の食材をいかしたおいしい給食への提供を通して、野田市の特産の黒酢米や発芽玄米、各食材について積極的にピーアールしてまいりたいと思っております。

報告は以上です。

◎東條教育長

次に、指導課からお願いします。

指導課長。

◎矢部指導課長

指導課の事業等につきまして、資料の項目に沿いまして報告申し上げます。

1点目は、いじめの状況です。

資料はございません。

先月の教育委員会定例会の時点で、いじめが継続している事案が1件ございました。現在、新たな動きはありませんが、注意深く見守りを続けている状況でございます。

第2回のいじめの調査は、本日10月25日から開始予定で、11月18日までに報告を受け、集約後に追跡調査を行っていきます。なお、現在、新たないじめの報告はございません。

続きまして、2点目、第71回東葛飾地方中学校駅伝競走大会について報告申し上げます。本日配付させていただきました資料を御覧いただきたいと思います。

今年度は、10月21日土曜日に野田スタート、松戸ゴールで実施されました。野田市内では第一中学校が19位、南部中学校が20位となりました。各中学校の健闘をたたえたいと思います。

3点目は、資料35ページの音楽コンクールの結果についてでございます。

8月、9月の定例会で口頭にて報告したものをまとめました。今後、県代表、東関東代表として関東大会、全国大会に出場する学校もあります。次回の定例会で報告させていただきます。

なお、資料にはございませんが、先週の10月18日水曜日、19日木曜日に、野田市小中学校音楽会が文化会館で開かれました。すばらしい音楽会であったと、講師の先生方からお

褒めの言葉をいただきました。

なお、昨年度から、鑑賞できる方を保護者のみに限定し、チケット制にさせていただきました。大きなトラブルもなく無事終了できましたが、広く地域に公開してほしいという要望もいただいております。課題を十分に洗い出し、来年度にいかすように音楽会運営委員会に指導してまいります。

4点目は、JOCオリンピック教室です。

資料は36ページからになります。

公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）より、10月11日水曜日に野田市立木間ヶ瀬中学校にて開催されたオリンピック教室について報告申し上げます。

木間ヶ瀬中学校は全校生徒329名、1年4学級、2年3学級、3年3学級という状況でございまして、今回のオリンピック教室では2年生3学級が講義を受けました。この事業は、千葉県と公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）が、オリンピックの推進やスポーツ振興等で積極的に連携、協力することを目的に、平成28年2月にパートナー都市協定を締結し、それに基づく連携事業として、今年度は木間ヶ瀬中学校で1996年アトランタ大会出場の野村智宏氏、種目は陸上競技・走り高跳び、それから、2008年北京大会出場の宮下純一氏、種目は水泳・競泳、このお二方を講師としてお招きし、開催したものです。

講義はオリンピックによる、運動が苦手な生徒でも参加できるように工夫された授業や、座学で経験に基づいたオリンピックの価値などを伝えると同時に、生徒自身が自分のこととして捉え、今後にいかせるような学習内容となっており、最初は硬さの見た生徒も、次第に目を輝かせて講師の体験談に聴き入り、実技にも大変熱心に取り組み、終盤には笑顔があふれる教室となりました。

続きまして、5点目は、資料38ページの平成29年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展の受賞者の報告でございます。

10月14日土曜日、15日日曜日に、千葉市の総合教育センターで行われました作品展に、市の代表作品として15点出品しました。科学論文の部で、南部中学校2年の中山湖葵さんが千葉県総合教育センター長賞、中央小学校1年の坂本凜花さんが優良賞、関宿小学校5年の林巧二さんが佳作となりました。科学工夫作品の部では、柳沢小学校1年の染谷利央さんが佳作となりました。

以上でございます。

◎東條教育長

この際、ほかに報告事項がありましたらお願いいたします。

それでは、ただいま報告のありました事項につきまして、質問等ございましたらお願いいたします。

高橋委員さん。

◎高橋委員

市議会定例会の一般質問の中の答弁の内容についてお伺いをしたいと思います。

以前、説明を受けているものもあるかと思うのですが、もし、そういうふうな説明がされた中での質問ということであれば、大変申し訳ありません。お許しいただきたいと思っております。

4点教えていただきたいのですが、まず1点目は、資料の3ページに、特別支援学級の未設置校、清水台小学校に平成31年度に開設するというふうに入っているんですが、31年度でよろしいのでしょうか。これが1点です。

それから、次に12ページでございますが、②の中ほどに、「今年度、市教委では学力の

二極化の改善に向けて、学力の指標と、その目標値を示し」とあります。この指標、それから目標値、これについて具体的に教えていただければと思います。

3点目ですが、13ページの①の終わりに近いところに、道徳教育の教科化に伴いまして、従来の道徳教育と何が変わるのか、何を变えなければならないのか周知するとありますが、変わる事、それから変えなければならないことについて、具体的に教えていただければ有り難いと思います。

それから、4点目として、13ページから14ページにかけて、教員の勤務時間の管理についてでございますが、時間外勤務が80時間以上の人数が減少しているということでございます、校長先生を始めとして先生方、そして教育委員会の皆さんの努力に敬意を表したいと思ひます。

学校では勤務時間の割り振りはしますけれども、今の学校でも現実的には児童生徒がいる中で、なかなか休息、休憩などをとれないのが実情ではないのかなというふうに思っています。それだけに、残業時間を少なくして先生方の健康、あるいは気力の充実を図っていただきたいなというふうに思うところでございますが、今以上に生き生きと教育活動に先生方が取り組んでくださるのには、残業時間というのは、ある程度制限するのが非常に大事なことだろうというふうに思っています。

そこでお伺いしたいのですが、残業時間をゼロにしたいという、ゼロにするのが一番理想かと思ひますが、なかなか学校ではそれはできないだろうと思ひますので、教育委員会として残業時間をどのぐらいにしたいという、そういう目標値があるのかなのか、この辺について教えていただければと思ひます。

以上4点です。よろしくお祈ひします。

◎東條教育長

教育総務課長。

◎中村教育総務課長

私の方から、1点目の清水台小学校の特別支援学級の開設時期が31年度でよいかという御質問でございますが、この9月議事に設計を補正予算で計上させていただきました。この設計に伴いまして、30年度予算におきまして、現在、清水台小学校の普通教室に空き教室がないものでございますので、プレハブ校舎、これは賃貸借で対応するという形で、予定で進めております。そのプレハブ校舎の建設が30年度にかかってまいりますので、31年度4月開設に向けた事業の執行という形になります。

以上でございます。

◎東條教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

二極化の改善に向けての指標と、それから道徳について説明申し上げます。

1点目の、学力の二極化の改善に向けての学力の指標と目標値の件ですが、これは昨年度の学力の課題をクリアするために、幾つかの目標値を設定し、各学校に提示をさせていただきました。昨年度末、平成29年3月22日に事務連絡として各校に出させていただきました。

例を挙げますと、全国学力・学習状況調査では、平均正答率を全国を100とした場合、昨年度の数値よりも2ポイント上昇させること。それから、野田市学習到達度調査では、各学年とも対全国比を上回ること。それから、千葉県英語学力調査では、中学3年生の英検3級相当以上の取得率が40%を上回ること。そして、学力の分布においては、全国学

力・学習状況調査の正答率が40%以下の児童生徒の割合を、全国比で昨年度の数値よりも20ポイント下げること、こういったことを例示させていただきました。

続きまして、道徳教育の何が変わるのか、何を变えるのかという御質問ですが、前提といたしまして、平成27年に告示されました学習指導要領におきましては、学校における道徳教育は、「自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。」と意義が明記されております。児童生徒一人一人が将来にわたって幸福な人生を歩むことができるように、また、他者と共に豊かな人間関係を築くことができるように、学校教育において基盤を養うことが大切だというふうに言われているんだと思います。

そのために変えなければいけないことなんですが、従来の道徳の時間が抱えていた課題である、例えば登場人物の心情理解に偏った授業内容や、分かりきったことを言わせたり、書かせたり、そういったことをすることに終始する指導を抜本的に改善し、道徳教育の要となる授業の質的転換を図らなければならないという部分でございます。

特定の価値観を押し付けたり、主体性を持たず言われるままの行動をするよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にあると言わなければならないと思っております。むしろ、様々な価値観の、時に対立がある場合を含めて、真正面から価値に向かい合って、道徳としての問題を考え続ける姿勢こそ、道徳教育で養うべき基本的資質であると言えるのではないかと思います。

45分から50分という限られた授業時間の中で、児童生徒が課題とする価値に向き合って、学級の仲間同士で、あなたならどうするか、自分ならどうするかなどをとことん話し合う、そういった「考え、議論する道徳」に変えていく必要があるというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

◎東條教育長

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

4点目の勤務時間に関する内容でございます。

これは議会の答弁の中でも、今年度、野田市におきましては小学校学級事務支援員を配置させていただいて、それを一つのキーワードにして、業務改善を進めるということの取組をやってまいりました。

勤務時間についても当然、それを縮減するのが一つの狙いになっておりまして、昨年度、小学校の先生方の時間外勤務が80時間以上の割合が、全職員に対して4%でございました。中学校が約20%、部活の関係がありまして、小中の開きがございます。

これが今年度前半ではありますが、前期を終えたところで小学校が3%で、中学校が17%ということで、縮減の方向には向かってございます。ですので、全体の仕事量が学習指導要領のうんぬんがありまして減っていない状況の中で、時間外勤務を急に減らすというのは非常に難しい話で、今できることは、いかに効率良く仕事を進めていくかといったこと、それと今回、配置をさせていただいた事務支援員等も入れて分業する中で、本人の仕事量を少しずつ減らしていくというような状況の中で、時間外勤務を減らすということで考えていきたいというふうに思っております。

ですので、委員会として、まだ数値目標は設けてはおりませんが、昨年度、今年度の様子を見ますと、小学校で2%程度に、中学校におきましても15%といった形で、まずは80時間以上の超過勤務者の人数を少しでも0%に近づけていけるように、目標として頑張っ

て取り組んでまいりたいと思っております。

現状は以上です。

◎東條教育長

高橋委員さん、いかがでしょうか。

◎高橋委員

ありがとうございました。

学力の二極化ということで、こういう数値を示されるということは、具体的な学校としては目標ができて、かえって攻めやすいかなというふうな感じが私はしました。だから、そういうふうなものが示されたということはすばらしいというか、よかったな、そして、それが今年度の結果が更に良い結果につながっていけば、もっと先生方がやる気になるだろうというふうに思いますので、その辺の手管についていろいろ工夫をしていただければというふうに思います。

それから、道徳については非常に難しいところがあって、課題もいろいろあると思っ
ているんですが、一つ一つをこなしていきながら、子供たちを育てていただければと
いうふうに思います。

それから、教員の勤務時間については、今、学校教育課長さんから非常に慎重な発言と
言っているのかどうか分かりませんが、目標2%ぐらいというふうな、内々にというよう
な感じで話があったんですが、これを突き詰めていきますと、今度は恐らく持ち帰ってや
る仕事が増えるだろうというふうに私は予想しています。

ですので、現状でどのぐらいの持ち帰りがあるのか、それから内容、この辺りを押さえ
ておいて、この目標値というものを設定していくとどうなんでしょう。持ち帰りの時間が
多くなったんじゃ、先生方の仕事の場が学校から家庭に変わるだけということになってし
まいますので、現状、家庭でどのくらい取り組まれているかということ、是非、難しい
ですけども、大まかにでも把握しておかれたらいいのかなというふうに思うところがご
ざいます。

以上でございます。

◎東條教育長

ほかに、いかがでしょうか。

永瀬委員。

◎永瀬委員

先ほどの、道徳の授業が始まるということなんですけれども、道徳と国語の比較をする
と多分、国語というのは答えが一つで、その答えが出せないとマルにならないし、そこか
らずれていればバツになると思うんですけれども、道徳というのは、今のお話だと個人個
人のいろんな意見が全てマルになる可能性は高いというところが、大分違うところかなと
思っています。そこがこんがらがってくる生徒も出てくるんじゃないかなと。国語の授業で
国語のテストを受けたとき、本当はその文章の要点とか、登場人物の心情を書かなきゃい
けないところを、自分の意見を書いてしまうという場合も、道徳を授業化していくと出て
くる可能性があるのかなと思っています。やっぱりそこら辺のところを教育というか、指導
するときに注意していただければなというのが私の感想です。

以上です。

◎東條教育長

いかがでしょうか。

伊藤委員さん。

◎伊藤委員

今の永瀬委員の話ですけれども、国語と道徳、あるいは社会科と道徳等で、いろいろ文章を読ませて、それぞれの考えを大事にするというのが、ある意味、道徳の目指している方向で、恐らく国語とか社会とかというのは、一つの事実で共通に判断できる基準というのが専門の方々の意見として用意されていて、それを理解しているかどうかには評価の尺度が向いていて。道徳の評価の一番大変なところは、そういうある基準があって、そこまで近づいているか近づいていないかの客観的な評価は、ほかの教科ではできますけれども、個々の考えや価値観をどういう尺度で評価するかというところが、恐らく永瀬委員の懸念している、実際に自分の子供さんがそういう評価をもらってくるときに、あるいは先生方も、評価の尺度をどこに置くかというのが一番難しいところで、今のところ文科省の学習指導要領のいろんな話の中では文章で書く。

一人一人がそれぞれ文章で書くとなると、また、この間の教科書の選定会議でも言われましたけれども、先ほどの先生の仕事量じゃないですけれども、ある一つの尺度というのがそれぞれ個人内にあるとしたら、個人内のものの見方、考え方、価値というものを、どういうふうに作り上げているかのプロセスを記述していくような、そういう評価の方法はどうかというふうに示されているわけですが。そうすると、先生方はまた仕事量が。恐らく一人一人に目を向けて、子供たちの成長なり考え方の定着なりを文章で記述するというのは、ある意味一つの尺度が外に示されていて、どこまでいったかという数量化できるものとまた違うので、先生方の仕事も逆に増えるのかなとも懸念されています。

私、この間、夏に海外で、ヨーロッパの科学教育会議がありまして、ヨーロッパの小中高の先生方で、理科・数学の担当者が多かったですけれども。向こうの学校とか先生の仕事というのは、教科の教育に特化というか、ある程度、事務仕事は事務の職業分化というんですか、分野がちゃんと分かれていますので、生徒指導的な問題はソーシャルワーカーが、いろんな個人の悩みやいじめの問題はスクールカウンセラーがやるとかと分担されていて、先生方が自分の担当している教科に仕事を集中しているという部分で、ある意味、先生方が教えることに仕事を特化しているなというのが感想であったんですが。一方で、先生方が横のつながりがないと。学校という組織とか、あるいは学年という先生方のまとまりがなく、先生方は常に一匹狼じゃないですけれども、一人一人独立しているので、そういう会議等に出て、自分の教え方のスキルですとか、いろんな教材の精選というか、良い教材を探しに来るとかという意味では、孤独で孤立しているという部分が一方であって。日本のように行政なり教育委員会なりでたくさん、いろんな研修が準備されていて、先生方が自由に選んで、自分のキャリア、あるいは職能を高めていくというシステムがちゃんとあって、また、学校という組織がしっかりあって、先生方の横の連携ですとか、教科ごとのつながりとかというのがあって切磋琢磨しているという部分では、先ほどの議論で、先生方の仕事は確かに諸外国と比べると多いんですけども、先生方のプロフェッショナルなスキルですとか指導法は高いなというのが、すごく実感として持てて。ある意味、日本の先生が置かれている状況というのは、すごくいろんなものを社会からも、あるいは親御さんからも求められている部分、こういう問題がある意味、解決できるかどうか分かりませんが、そういうところを目指しているところで、日本の先生方が世界でもまれに見る優秀な方の集団であるというのは、改めて感じてはいたんですけども。一面、裏でこういう超過勤務、あるいは評価の問題というのが一方であってというのを改めて実感して、良い面、悪い面、両方あるなというふうなことで。感想ですけれども。

◎東條教育長

飯田委員さん、いかがですか。
ないですか。

◎飯田委員

はい。

◎東條教育長

それでは、報告事項についての御質問等は、これで打ち切るということでよろしゅうございましょうか。

もう1件、どうぞ。

◎高橋委員

給食についてです。どこかの町ですか、業者の方から辞退があったという新聞記事を読んだのですが、野田の給食についてはそういう問題もなく、むしろ、今日の課長さんの報告にあったように、野田産あるいは野田で採れる野菜、そういったものを利用して給食を作ると、非常に取組が前向きだなということを感じました。なかなか農家の皆さんに野菜を提供していただくという、そのことすら組織立てるのは非常に難しい。そういう中で、こういう取組をされているということに対して、本当に敬意を表したいなというふうに思います。今後ともますます安全でおいしい給食を実践していただければというふうに思います。ありがとうございます。

以上です。

◎東條教育長

それでは、以上で教育長の報告事項を終了といたします。

次に、議案第4号の審議に入りたいと思います。

冒頭で確認をいたしましたとおり、非公開で行いますので、野田市教育委員会会議規則第13条第2項の規定により、ただいまから申し上げる職員以外の方々については、御退席をお願いいたします。お残りいただきますのは生涯学習部長、社会教育課長、社会教育課長補佐、以上でございます。そのほかの方については、御退席くださいますようお願いいたします。

(以下非公開)

以上会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委員